

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：菊沢川改修計画について～ナガレコウホネの保全とモニタリング～	
水系／河川名：利根川水系/菊沢川	河川規模：中小河川
事業：河川改修	事業開始年度 平成24年度
目標設定：なし	段階：P(計画時)
課題・目的(主な)：流下能力の確保、貴重種、特定動植物の保全	
工法(主な)：築堤、引堤、掘削(河床)、護岸整備、河道法線修正、移植、植樹	
配慮事項(主な)：委員会、協議会等の開催	

背景・課題、目標設定

<背景>

一級河川菊沢川は栃木県佐野市内の扇状地を流れる延長L=15.6kmの河川であるが、流下能力が不足し、周辺の浸水被害がたびたび生じている。北関東自動車道が開通し、周辺の宅地開発等が行われることが見込まれたため、流下能力の向上を図り、河川改修事業を行うこととした。

事業区間の一部には自然河岸が残る区間があり、希少種であるナガレコウホネの生息が確認された。そこで多自然川づくりの考え方のもと、既存のおお筋を残す河川改修計画として生育環境を保全するとともに、河川法線の変更等で失われる群落については、生育に適した箇所を選定してそこに移植を行うこととした。

平成22年には試行的に移植を実施し、その後毎年既存のものも含め各群落の生育状況をモニタリングしている。

<目標>

現地に生息するナガレコウホネおよびその生育環境の保全。

取り組み内容・対策例

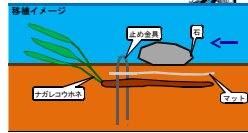
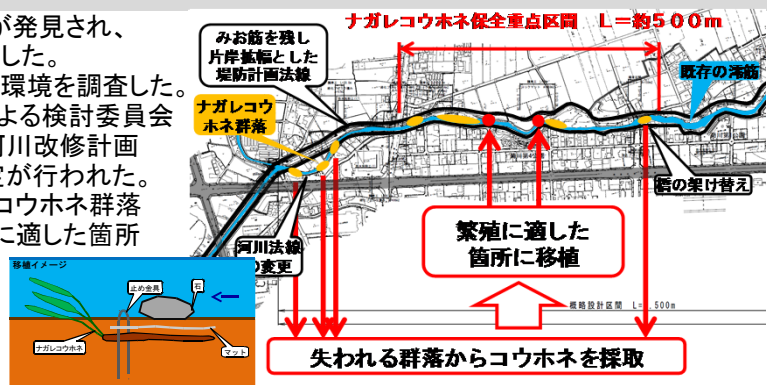
平成19年度に希少種であるナガレコウホネが発見され、地元においてもナガレコウホネを守る会が発足した。

河川環境調査を実施しナガレコウホネの生育環境を調査した。

生育環境の調査結果および地元関係者等による検討委員会での審議により、現況のおお筋を残す形での河川改修計画の実施と、ナガレコウホネ保全重点区間の設定が行われた。

また、河川法線の変更により失われるナガレコウホネ群落については、自然環境調査の結果を元に生育に適した箇所を選定して移植を行うこととした。

平成22年に試行的な移植を実施した。



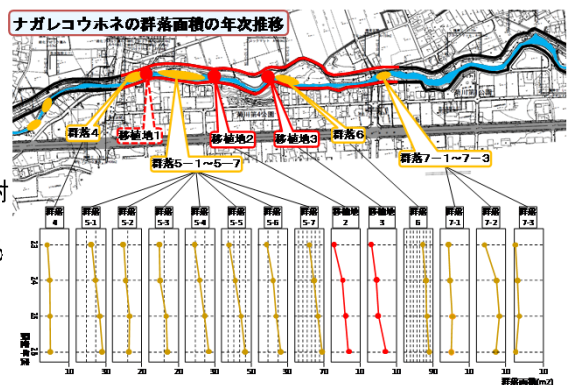
モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

モニタリング調査を行った結果、ナガレコウホネの移植先の群落の面積が6倍に拡大したことが確認された。

移植先の群落の成長に違いが見られたが、底質等の移植先の環境が異なるためであることがわかり、移植方法について新たな知見が得られた。

今年度に洪水被害の防止のため、一部河床を掘削したところ、一部の群落が水面上に露出してしまったため、緊急の移植を検討している。

今後、河川改修工事が開始されより大がかりな移植が行われることになる。これまで得られた知見を生かしていきたい。



問い合わせ先 栃木県県土整備部河川課

電話番号 028-623-2438